

## 大崩ハイキングと十二湖散策の旅 空中から湖を眺め、神秘の湖を歩く

弘前ハイキングクラブ

柄沢 博之



金山ノ池からの大崩

大崩は白神岳の北側に位置する山である。登山口はJR十二湖駅から6kmほど山あいに入ったところにある。途中には大小さまざまな湖沼群が点在している。シーズン中は十二湖駅前経由で一日8便のバスが出ている。終点の「森の物産館キョロロ前」(キョロロとはアカショウウビンの鳴き声から付けた名前)で降り、鶏頭場ノ池に沿って10分ほど歩くと大崩の登山口がある(道標は崩山登山口)。初めは沢に沿って登っていく。この沢筋は数年前に土砂崩れがあったため迂回路ができていて、1時間ほど登るとベンチのある休憩所に着く。ここは道標には大崩まで1.1km(全行程2.3km)と書かれている。更に森林浴を楽しみながら登るとおよそ40分、突然目の前の視界が開ける。大崩である(崩山まで0.9kmの道標あり)。足元の岩は大きく崩れ、目の前には十二湖の湖沼群と日本海が広がっている。その様はまるで空中から下界を眺める

ような気分だ。この先登山道は崩山、大峰岳を経由して白神岳まで続いている。大崩から下りたら、今度は十二湖を散策しよう。まず行ってみたいのが登山口のすぐ近くにある青池である。インクを流したような独特な蒼さは一見の価値がある。次にお勧めしたいのが、青池から40分ほどのところにある金山ノ池。ここからは大崩の全容を見ることができ、見上げた先にある荒々しい岩肌にあらためて驚かされる。金山ノ池からの戻り道は長池、沸壺ノ池経由をお勧めしたい。長池ではアカショウウビンと会えるかも……。ほかに日本キャニオンなど十二湖には見どころがいっぱいである。

大崩は白神岳の北側に位置する山である。登山口はJR十二湖駅から6kmほど山あいに入ったところにある。途中には大小さまざまな湖沼群が点在している。シーズン中は十二湖駅前経由で一日8便のバスが出ている。終点の「森の物産館キョロロ前」(キョロロとはアカショウウビンの鳴き声から付けた名前)で降り、鶏頭場ノ池に沿って10分ほど歩くと大崩の登山口がある(道標は崩山登山口)。初めは沢に沿って登っていく。この沢筋は数年前に土砂崩れがあったため迂回路ができていて、1時間ほど登るとベンチのある休憩所に着く。ここは道標には大崩まで1.1km(全行程2.3km)と書かれている。更に森林浴を楽しみながら登るとおよそ40分、突然目の前の視界が開ける。大崩である(崩山まで0.9kmの道標あり)。足元の岩は大きく崩れ、目の前には十二湖の湖沼群と日本海が広がっている。その様はまるで空中から下界を眺める

大崩は白神岳の北側に位置する山である。登山口はJR十二湖駅から6kmほど山あいに入ったところにある。途中には大小さまざまな湖沼群が点在している。シーズン中は十二湖駅前経由で一日8便のバスが出ている。終点の「森の物産館キョロロ前」(キョロロとはアカショウウビンの鳴き声から付けた名前)で降り、鶏頭場ノ池に沿って10分ほど歩くと大崩の登山口がある(道標は崩山登山口)。初めは沢に沿って登っていく。この沢筋は数年前に土砂崩れがあったため迂回路ができていて、1時間ほど登るとベンチのある休憩所に着く。ここは道標には大崩まで1.1km(全行程2.3km)と書かれている。更に森林浴を楽しみながら登るとおよそ40分、突然目の前の視界が開ける。大崩である(崩山まで0.9kmの道標あり)。足元の岩は大きく崩れ、目の前には十二湖の湖沼群と日本海が広がっている。その様はまるで空中から下界を眺める



展望所から見る日本キャニオン



- 時 物産館キョロロ駐車場 > 10分 > 大崩登山口 > 60分 > ベンチ(標高520m付近) > 40分 > 大崩 > 75分 > 登山口
- 交 JR十二湖駅から物産館キョロロまでバス 15分 350円 行きは8便、帰りは10便ある バスの問い合わせ先は弘南バス緑ヶ沢営業所 0173-72-3131
- 湯 青森方面 ウェスバ椿山、みちのく温泉、不老不死温泉、ゆとり(いずれも深浦町)など 秋田方面 いさびり温泉(八ヶ岳、八森湯っランド(秋田白神駅付近))
- 問 西津軽郡深浦町役場 0173-74-2111
- 地 十二湖
- 参考 アカショウウビンに出会える池：鶏頭場ノ池、長池など カワセミに出会える池：玉池など

時 参考タイム 交 交通 問 問い合わせ 湯 立ち寄り湯 地 地形図